

5 継続的に事業を実施する方策（課題と対策）

2011年度より実施した本事業は、第1回ということもありテスト運営的な試みを含め実施しました。事業継続を前提に、参加者・講師・指導者（事務局）から取得した事業に対するアンケート結果に基づき、次年度に向けて事業体制、収支、告知等の課題に対する対策をとりまとめました。

⊗ 5-1 事業継続に向けた課題と対策

事業体制（取り組み方法）	
課題	対策
参加者と指導者の距離感、対応方法を明確にする必要がある お客様扱いしない	指導者全員が実施前に参加者への接し方を確認し、共通認識として対応する 特に安全に関わる内容では講師、事務局ともに厳しく指導する
参加者間の交流を深め、友達づくり、協力して実行する重要性を学ばせる	アイスブレイクの取り入れ 開講初日に参加者間の交流を行う
状況（天候、人数、時間）によるメニューの変更プランの準備が必要	運営マニュアルを作成し、内容を変更した場合でも対応できるようにする
修了者（第1期生）への対応	<ul style="list-style-type: none"> 新規メニュー開発（同じメニューでも内容を変更、追加する） 参加2回目以降の割引 専門分野の紹介
保護者が参加できるメニューが少ない	<ul style="list-style-type: none"> 親子で参加できるメニュー開発 保護者用の別メニューを検討（募集告知の時点で伝わるように）
運営費（コスト見直し）	
運営費の軽減	事業全体の支出面の見直し 販促ツールや固定費の削減を行う
人件費	事務局の補助要員として、学生、ボランティアの検討
移動費	バス移動を減らし現地集合解散
参加費	
体験メニューに参加しない保護者にとっては、参加費が高いとの声がある	保護者が参加できるメニュー開発及び参加特典の強化
協力・協賛	
運営資金の確保	報告書を活用した協力・協賛先の開拓、拡大事務局を中心に関係先への協賛先開拓活動の実施
募集・告知	
募集及び告知期間が短かった	早期企画による、募集告知 募集期間を長く設定する 新聞、市報、フリーペーパーへの告知拡大 前回実施内容の紹介（報告書、ホームページ）

⊙ 5-2 実施内容

前項(5-1)を参考に以下の内容で実施します。

- ◆基本構成は同じ「体験」、「学習」、「演習」とします。
- ◆参加者間のコミュニケーションを増やす目的として、アイスブレイク要素を取り入れます。
- ◆体験時間を延長します。
- ◆式典形式（開校式・修了式）の時間短縮をします。
- ◆バスによる会場移動数を減らします。
- ◆第1期生の参加を考慮し同じメニューでも内容の変更、及び追加をおこないます。

■2012年度プログラム(案)

体験（ウォータースポーツ）	場 所
カヤック	西福岡マリナー マリノア
マリナー業務体験	
クルージング、ロープワーク	
ヨット体験	
ビーチスポーツ ・ライフセービング ・ビーチサッカー等	シーサイドももち海浜公園
学習（座学中心）	場 所
気象	西福岡マリナー マリノアもしくは演習での訪問先
海洋生物	〃
星（航海術）	〃
人命救助	〃
キッズふね検	〃
演習（施設見学等の訪問）	場 所（訪問先）
施設見学、業務紹介、魚調理	福岡市漁業協同組合 姪浜支所
施設見学、業務紹介、工作	福岡県水産海洋技術センター
見学、業務紹介	福岡海上保安部（巡視船見学）

■新しい講座の取組みとして(案)

- ◆釣り体験（釣具店、宗像大島海の駅との協力）
- ◆テレビ局の訪問（天気予報の制作現場を見学）
- ◆ライフセービング講習を学校のプールを使用して実施
- ◆ウェイクボード（高学年のみ）
- ◆農作物の植ええと収穫体験（海の森事業）
- ◆スポーツを通じてマナーアップ講習（あいさつなど礼法を体験）

⑤ 5 - 3 財源の確保

2012年度の事業継続に必要な運営費として、協力・協賛先の新規開拓および維持継続をおこない、加えて事業経費を軽減し財源を確保します。

■2012年度収入(案)

項 目	2012年(予定)	
	関係先	金額
自己財源 その他(協賛金他)	関係機関	1,400,000円
受益者負担金	小学生 10,000円×40名 保護者 5,000円×40名	600,000円
総事業費		2,000,000円

前項5-2の2012年度プログラム(案)を実施するにあたり、募集人数を2011年度と同様とした場合、協賛金等の運営資金として140万円が必要となります。尚、物品協賛なども継続および拡大を図り実施する必要があります。